

# 海棠わき 癒しのタロット占い

## ～鑑定結果～

海棠わき さん

鑑定日：2024年10月XX日

### ケルト十字で占う：

電話占い依存症から脱却するためにはどうしたらよい？

自分で自分のことを占えるようになりたいこともあって、タロット占いを勉強しているが、相変わらず自分のことは自分で占えずに、しょっちゅう電話占いに電話してしまう。

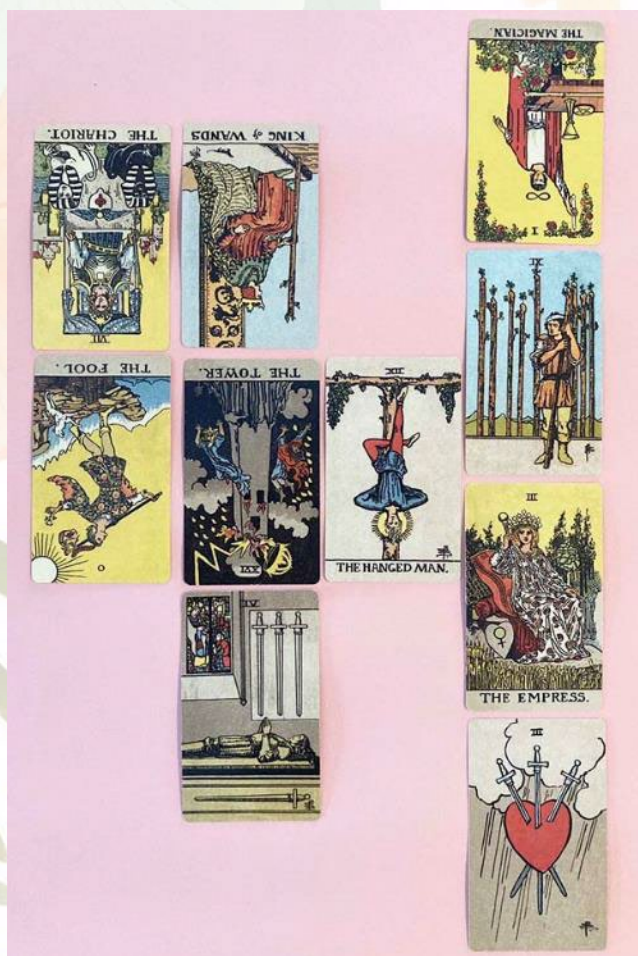
自分のことを占ってスプレッドを展開すると、集中してシャッフルできているか、正しくスプレッド展開ができているか、正しくカードが読めているか不安になってしまう。不安になってしまうために、何度も同じテーマで占ってしまい、ますますわからなくなってしまう。

お客様や、友達のことなら占えるのに、自分のことは占う自信がなく、結局電話占いを頼ってしまう。

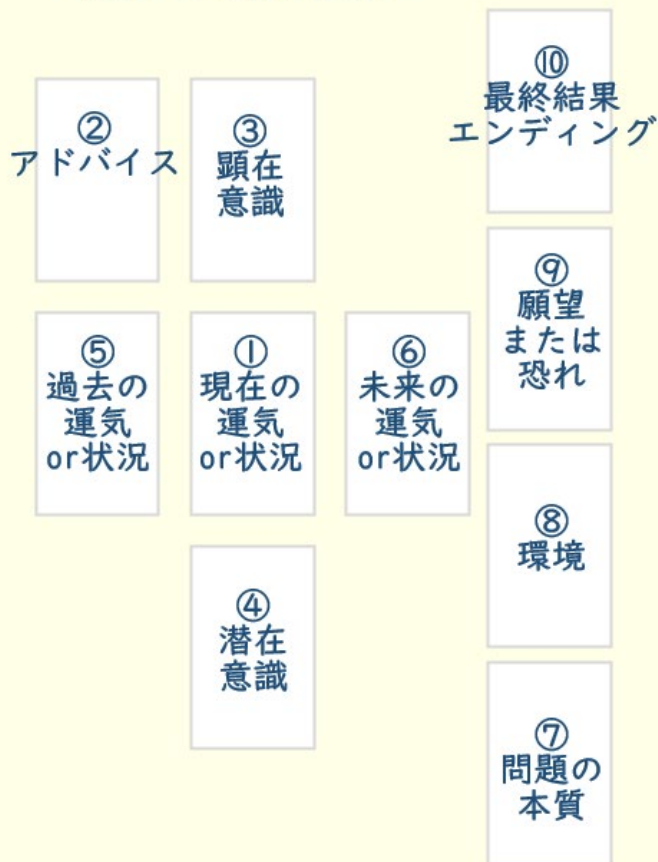
電話占い会社への支払いは、経済的にもけっこう痛手になっているので、電話占い依存症から脱却したい。

## ケルト十字で占う：

海棠わきが電話占い依存症から脱却するためにはどうしたらよい？



### ケルト十字スプレッド



### ③ 顕在意識：ワンドのキング（逆位置）

顕在意識というのは、思考パターン、思考グセの事を言います。ワンドのキングはやる気と情熱と影響力を持ち、強い自信を持っている人。

ですが、このカードが顕在意識の位置に、逆位置で出ています。

逆位置の場合は自分に自信がなく、「力があるのに出す事を嫌がる」という傾向があることを示唆しています。つまり宝の持ち腐れの状態ということ。

自分がしたいことをできる強さを持っているのに、本当にこれでいいのか迷ったり、急に自信がなくなるという思考グセ・思考パターンがあるようです。

## ⑨願望または恐れ：ワンドの9

願望達成までもう一息という所までできているのですが、急に自信がなくなるという思考グセ・思考パターンがあるために、自分のことを占うと、なぜか急に自信を失ってしまいます。

自分自身を鑑定するときは失敗しているのではないかと、ミスをしているのではないかと用心深く、疑り深くなってしまいます。「もっと準備したいのに」、「もっと〇〇をしたかったのに」という気持ちも強いようです。

そして自分が傷つかないような状態に持っていかうとする癖があります。



## ⑤過去の運氣 or 状況：患者（逆位置）

患者は、常識やルールに縛られない自由な存在の象徴です。ですが、このカードが過去の位置に逆位置で出ています。

もっと自分を信じてタロットの鑑定を楽しんでもいいのに、不安や恐れから自分の自由を自分で制限している状態です。

あなたは、「自由にしている」と言われると逆に怖くなるタイプ。正解が常に欲しいマニュアル人間です。

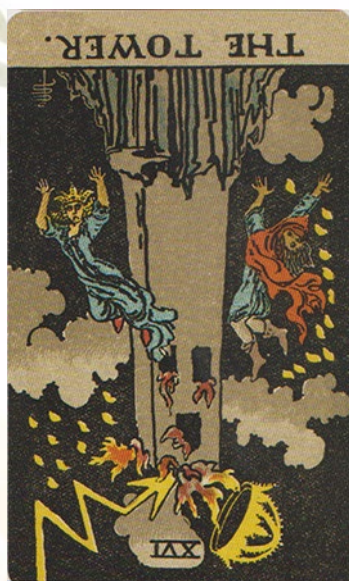
本来ならこれまで学んだことや経験をもとに、自分の頭で考えて自由に鑑定結果を導き出して良いのですが、このカードからは自由を恐れ、怖がって恐れ続けていた人生が見えてきます。

## ⑧環境：女帝

女王は「ただそこにいるだけで愛される」という意味を持つカード。すなわち、今の環境には問題がないということを示唆しています。でも不安になってすぐ電話占いに依存してしまうという過去からの癖は克服されていないようです。



今は、母親のような存在がそばにいて（宝良先生や電話占いの先生）、指示をもらったり、コントロールされる環境のもとではのびのびと自由に動くことができます。そして「それで大丈夫」と言ってくれる保護者のような人のもとにいれば、大げがはしないし、何かあっても大丈夫と安心感を持っているようです。



## 現在の運気 or 状況：塔（逆位置）

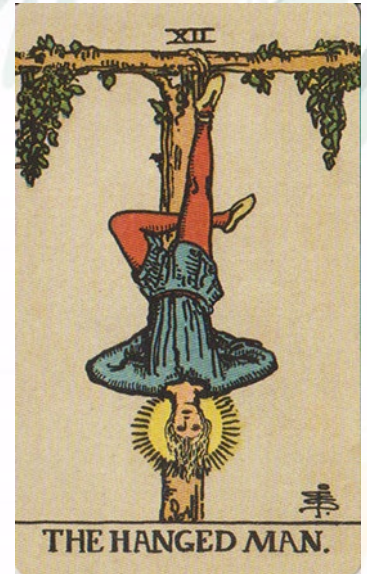
塔は「価値観の崩壊」を示すカードです。しかし逆位置として出現していますので「すでに分かっていることについて、価値観を改修する必要がある」という意味になります。

今まで培ってきた自分のやり方や、あり方、考え方について、もうフルリフォームしなければいけない時が来ているのでしょう。今までは「自由に生きることに不安を抱えていても、タロット占いの先生たちが何とかしてくれていた。そして何とかなってきた。」なのでしょう。

だけどそのやり方はそろそろ限界で、「虎は子を崖から落とす」ではないけれども、「籠城していた場所から脱出する時が来ている」ということをタロットは示唆してくれているようです。

## ⑥ 未来の運氣 or 状況：吊るされた男

近未来に「吊られた男」が出ていますが、このカードが出る時は物事がなかなか進展しにくい時でもあります。最近では本業の会社の仕事はかなりハードになってきてしまい、占いの勉強やブログの投稿を両立させることが苦しくなっています。でも何故かあえて苦境を好んでしまうタイプのようにです。なぜだか苦境ばかり選んでしまうのは、負荷がかかっている状態や、ギリギリが好きなタイプだから。



近未来では、占いを学ぶ良い環境が整っていることもあり、不安に思いながらも、迷いながらも籠城していた場所から脱出しようと、自分を追い込みながら頑張ろうとします。だからこそ自らを高めるために、近未来のあなたは、一時ですが自分を成長させようと頑張るようです。



## ⑩ 最終結果・エンディング：魔術師（逆位置）

実感のあるなしに関わらず、既に本当は「自分自身をタロットで占うこと」に対して、必要な情熱・知性・感性・実現力は全て兼ね備えている状態まで成長することができます。

近未来のあなたは、一時的には依存症から脱却しようと頑張るものの、また不安と恐れから、籠城していた場所に逆戻りしてしまうことになりそうです。

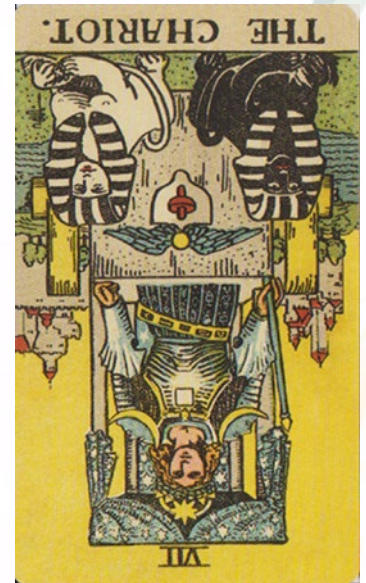
すなわち、あなたは、最終的には宝良先生や他の占いの先生（母のような存在 = 女帝）がいないとまだ自分の足で歩けないようです。

いつまでも、母という存在を、誰かの庇護を求めて塔の中に戻ってしまうのは、自我が育ってない、自立心が育っていないからなのです。

## ②アドバイス：戦車（逆位置）

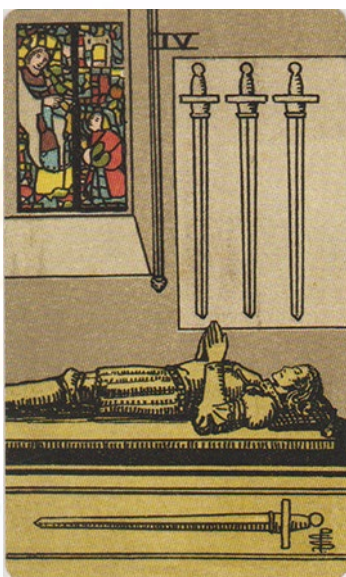
誰かに頼って動くのではなく、自分自身が主役になり動く事がポイントであることを示唆するカードです。このカードが逆位置で出ています。

自分のこだわりや軸は持っているのに、自信がなく、やっぱり怖いという恐怖感が足を引っ張っているようです。自分のことを決めるのは自分自身でハンドルを握れるようにならないとダメです。このままでは、占い師が主導になってしまう。



占いは頼ってもいい、だけど答えをもらいにいくだけではだめで、どうすれば自分が未来を切り拓けるかを考えなければだめです。そうでなければ、一時的には電話占い依存から脱却しようと頑張ってみても、また塔の中に戻ってしまう。塔の外に出て独り立ちできるようになること。

そのために、占い師の先生たちを頼るのはありです。定期講習を受けるなどのメンテナンスをしていきましょう。くれぐれも衝動的に女帝を頼る事（発作的に電話占いに電話してしまう）の無いように。



## ④潜在意識：ソードの4

ひとまず今は何も考えられない状況。頭が働かない。休みたい・考えたくないと思う状態です。

あなたは、自分のことをあいまいな表現でしか答えられない時があります。自分で自分のことをよく知らないのです。自分のことを深く知ろうとしていないからなのです。

本当に自分のことをしっかり考えてしまうと、もっと傷ついてしまう、苦しくなってしまうと思っているから。実は「自分はこんなことで傷

ついていた、悲しかったのだ」と、気づきたくないようです。今まで見ないふりしてきたことを自分自身で掘り下げて考えなければならないのです。

### ⑦問題の本質：ソードの3

小さい頃のあなたは、本当はお母さんにもっと甘えたかった。お母さんに手を引いてもらい、導いて欲しかった。それが叶わなかった。その小さなころの思いは、あなたが思っている以上にあなたの心を傷つけているようです。

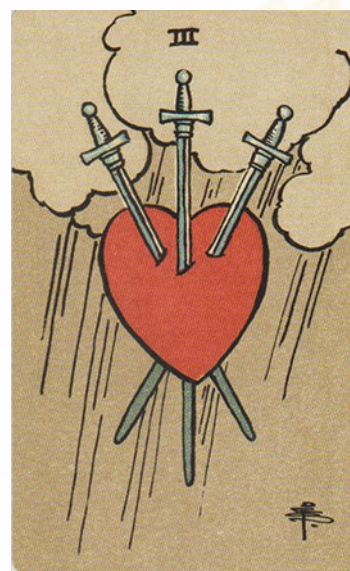
そのかなわなかった思いの分、母としての役割を占い師たちに求めているのです。

まだ何も考えたくなくても、もう起き上がって心に刺さっている剣を抜かなければならぬのです。

すぐに電話占いに依存してしまうのは、実は母親のような存在に導いて欲しいと思っているから。そんな気持ちが電話占い依存症の原因となっています。

「4人兄弟の長女で母にも父にも甘えたことがない」  
「兄弟の中で自分だけ赤ちゃんの頃から喘息で両親や他の兄弟たちとも寝室が別だった。」

「何も問題を起こさずなんでも自分1人で解決できる子供だった」、から母親にあまり気にかけてもらえなかった。けれども、幼少期の私は心の底では他のきょうだいと同じように母親に甘えたかったようです。



### ～自分の感想～

ソードの3が出たのは意外でした。自分は何に傷ついているのか最初は全く見当がつかずなかつたです。ですが、宝良先生と一緒に掘り下げてみると、今の大人になった自分にとってはなんでもないようなことなのですが、小さい頃の自分は、自分1人だけ両親やきょうだいとは別の部屋で寝ていたことや母に甘えられなかつたことは、ずいぶん傷ついていたようです。

小さなころの私は他のきょうだい達と同じように、母親と一緒に部屋で寝たかったし、もっと甘えたかったのです。母親はあまりかまってくれない人だったけれど、子供の頃の私は、もっと母から「ああしたらいいよ。」「こうしたらいいよ」とアドバイスや指針をもらいたかったのだと気づきました。

### ～宝良先生よりアドバイス～

子どもの頃、長女でしっかり者だった海棠さんは母親に甘えられなかった。それが心の傷となっていたことが分かりました。ソードの4の絵柄の人物は、1人で寝ていますね。子供のころ自分だけが両親やきょうだいと寝室が別というのがソードの4の絵柄にも表れているのかも。

まずは頑張って、3カ月、電話占いに電話するのをやめてみましょう。

電話占いに電話してしまうと、心の傷に無理やりふたをしてしまうことになってしまいます。すぐに結果を欲しがらず、もっと過去の自分を掘り下げて、見たくない嫌なことも見て、時間をかけて自分と向き合うことが必要です。